

## 同窓会会報

vol.41 2026年6月発行

同窓会設立70周年記念号

発行所／名古屋文化短期大学同窓会  
〒461-8610 名古屋市東区葵一丁目17-8  
TEL (052) 931-7112 FAX (052) 931-7117  
URL <http://nfcc-nagoya.com>  
発行・編集責任者 旗美代子 国立明子 北山三佳

## 同窓会会長あいさつ

同窓会会長 旗 美代子



名誉理事長山田新平先生はじめ皆様にご指導頂き、同窓会は設立70周年を迎え、深謝しお礼申し上げます。同窓会の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は同窓会活動にご理解とご協力いただきまして厚く御礼申し上げます。

同窓会も設立70周年を迎え、これまでの歴史を思い浮かべますと、昭和31年に同窓会設立の準備が開始され、母校に在職する卒業生が同窓会設立に向けて幹事となり、作業を進め昭和32年5月の母の日に同窓会会則が出来上がり、この会則により昭和33年4月には会員名簿No.1号が発刊され、これにより第1回同窓会が開催されました。総会には和服姿でお子様連れの方々も出席されておりました。

同窓会会報の変遷につきましては、昭和61年に山田家政短期大学同窓会会報第1号が発刊されました、その後昭和62年には教育改革の近代化の流れの中、女性の積極的な社会進出を目指して短期大学の名称変更が行われ名古屋女子文化短期大学となり設置学科も家政科から生活文化学科に変更され、これに伴い新しい学舎が竣工され、感性豊かで欧米文化・日本文化に出会える生活文化学科の環境に適した母校となりました。同窓会においては会報に広報し、学会等の会場となり、来学された学会等の方々の評価も高く最良の日々になりました。

平成10年同窓会総会は母校開学50周年を計画されて、役員選出後直ぐに母校開学50周年に向けて進みました。

平成12年（2000年）に名古屋女子文化短期大学は開学50周年を迎え、記念公演「狂言：和泉元彌」が愛知県芸術劇場コンサートホールで実施。同窓会の記念事業として、理事長に名誉理事長山田新平先生のレリーフ作成についてご相談させていただきレリーフ作成の運びとなりました。完成したレリーフを母校に寄贈し、エントランスホールに設置されました。（名誉理事長山田新平先生は除幕式に参加され良い作品ができたことに涙を流されお喜びされておりました。）このときに同時に名簿7号を発行しました。

平成18年（2006年）の同窓会設立50周年記念総会は、名古屋マリOTTアソシアホテルで行い、演奏会「胡弓：石田音人」を開催しました。

同窓会設立50周年記念に会則を改訂しました。新会則は、物事の決定や実施するための組織を明確にしました。総会の準備は常任幹事会で、常任幹事会の準備は役員会で行う。各委員会は、企画運営事項を常任幹事会に諮り実行する。総会事項以外は常任幹事会で決定できる。また、細則・内規により運営組織の細部迄、担当・責任・仕事について共通の認識ができるようになりました。

新会則には細則・内規で名簿の作成、個人情報保護について規定され、安全性、正確性の確立を図ることができました。

学園創立80周年祝賀会は出席者数も近年では最も多く、会場内催事も素晴らしく喜びがいっぱいでした。同窓会の会報も名簿もお役に立ったと思います。また、乾杯音頭の大役を同窓会に頂きました。

学園長山田健市先生には会報創刊からご指導いただき「我が人生同窓会と共に」と会報に掲載して頂き同窓会も感謝の思いで一杯でした。これからは、会員同志の絆を深め協力し合い向上してまいりましょう。

皆様のご健勝とご活躍を祈り、皆さんと共に母校の発展を祈念申し上げます。

# 祝 同窓会設立70周年記念

## 同窓会設立70周年に寄せて

同窓会顧問  
理事 長 山田美智子



名古屋文化短期大学同窓会は、本年70周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、これまで同窓会を支えてくださった卒業生の皆様、歴代役員、教職員、関係者の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

昭和、平成、令和と時代が移り変わる中で、同窓会は母校と卒業生を結ぶ大切な存在として歩み続けてまいりました。卒業生の皆様は、それぞれの地域や職場で活躍され、社会に貢献されております。その姿は母校の誇りであり、同窓会にとっても大きな喜びであります。

近年は社会環境や人々の価値観も大きく変化しておりますが、そのような時代だからこそ、人と人とのつながりの大切さを改めて感じております。同窓会は、世代を超えた交流の場として、また卒業生同士が支え合い、励まし合える場として、これからも大切な役割を果たしていきたいと考えております。

今後は、これまで築いてきた伝統を大切にしながら、若い世代にも親しまれる活動を進め、より多くの皆様に参加していただける同窓会を目指してまいります。そして母校のさらなる発展に寄与できるよう努めてまいります。

節目の年を迎え、改めて母校への感謝と誇りを胸に、同窓会が次の時代へ力強く歩み続けられるよう、役員一同努力してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 2026年度名古屋文化短期大学同窓会設立70周年記念総会のご案内 田内美和

今年で同窓会は設立70周年を迎えます。

長きにわたり同窓会を支えてくださった皆さまに心より感謝申し上げます。この大切な節目の年の総会で懐かしい笑顔に再会できますことを楽しみにしております。皆さまお友達を誘い合っご出席ください。

日 時：2026年10月10日（土） 11時～14時  
会 場：ホテル「ルブラ王山」 受付10時半  
名古屋千種区覚王山通8-18  
(052) 762-3105  
地下鉄「池下」下車2番出口

参加費：10,000円

内 容：総会・名称発表  
：懇親会  
：記念写真撮影

申込方法：ゆうちょ銀行 00890-0-35678（払込用紙）  
名古屋文化短期大学同窓会  
総会費

締め切り：7月31日（金）



60周年

### 設立70周年記念実行委員会

本年同窓会が設立70周年を迎えるにあたり、10月10日の総会までにスムーズに進行して行けるように実行委員会は取り組んでおります。

同窓会の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

- (1) 同窓会設立70周年記念総会 令和8年10月10日（土）ホテル ルブラ王山
- (2) 同窓会会員名簿12号発刊
- (3) 同窓会記念会報41号発行
- (4) 同窓会の名称の募集
- (5) 同窓会記念行事賛助の寄付金のお願い

会報にそれぞれご案内しておりますので、詳細をご確認ください。

# 同窓会設立 70 周年記念

## 同窓会の歩み & 思い出のアルバム



山田家政短期大学正門



新旧校章



名古屋文化短期大学正門

- ①山田家政短期大学開学  
1950年（昭和25年）
- ②山田家政短期大学同窓会設立  
1957年（昭和32年 5月 母の日）
- ③名古屋女子文化短期大学校名変更  
1987年（昭和62年）
- ④名古屋女子文化短期大学開学50周年  
2000年（平成12年）
- ⑤創設者故山田新平先生のレリーフ寄贈
- ⑥名古屋文化短期大学校名変更  
2004年（平成16年）
- ⑦沖縄支部「沖縄あおい会」発足  
2006年（平成18年）
- ⑧故山田久子先生銅像建立協賛
- ⑨学校法人山田学園理事長山田健市先生旭日中綬章



山田新平先生レリーフ



山田久子先生銅像



山田健市先生叙勲（旭日中綬章）



沖縄あおい会のつどい



設立50周年記念総会

## 同窓会設立70周年を迎えるにあたって

木村淳子

本年、同窓会設立70周年を迎えられること、卒業生として、こんなうれしいことはありません。

昭和33年（1958年）入学、校名は「山田家政短期大学」担任は現同窓会会長篠美代子先生でした。

卒業後子育ても終わる頃に、役員として篠会長のもと活動させて頂き、目に見えない絆で結ばれている気がしました。

同窓会に係わることで、設立70周年を迎えるまでの会の歴史の変遷を知ることができました。

入学当初の「山田家政短期大学」から1987年「名古屋女子文化短期大学」に変更され、家政学科から生活文化学科になり、学園としての学舎、施設も充実し、より多様な学生の養成を目指して時代の流れの中男女共学を選択2004年に「名古屋文化短期大学」に変更現在に至っています。

同窓会の会則も変化に応じて、その都度変更。会則に基づいた活動をしてきました。

その活動は会報にて会員の皆さまにお知らせしてきました。会員も高令化し総会に出席できない会員もいます。そのため会報をより多くの会員に発送できるように努力しています。

同窓会の大切な財産の会員名簿も本年同窓会設立70周年記念号を発行するため、個人情報安全性、正確性の確保に努力を重ねています。

そんな中で同窓会の会長役員一同は、今迄の歴史の灯を消さないよう頑張っています。

どうぞ、同窓生の皆さま、皆さまの参加で70周年記念総会を盛り上げてくださるようよろしくお願い致します。

## 名簿の会②

### 名簿12号発行に向けて

逸見由利子

私たちの母校は、昭和25年（1950年）に開学され短期大学として長い歴史を誇ります。

昭和32年（1957年）に「同窓会」が設立され本年70年を迎えます。その間、多くの先輩方の努力で5年ごとに同窓会名簿を作成してまいり、11号を数えます。

卒業生の皆さまの中には、開学当所の山田家政短期大学の学

び舎、恩師、友人を通しての、今日を築いての方も多くいらっしゃるやと拝しています。又、平成、令和に至る校名変更、共学での学生生活を有意義に送られ、第一線で活躍されて同窓生もおりと存じます。本年は同窓会設立70周年。多くの同窓生の皆さまの母校に繋がる思いを大切に、より正確な同窓会名簿12号発行を目標として、編集作業に励んでいます。

## —〈名称〉〈寄付金〉再度のお願い—

河上ちさえ

同窓会の名称を募集しています。たくさんの方の応募をお待ちしています。総会に出席して下さった皆様で協議の上、決めさせていただきます。

名称に採用された方には、記念品料を贈呈します。

※寄付金・名称の締切：2026年6月30日（火）

2026年は、70周年記念会員名簿12号の発行を予定しています。10月10日に行われる記念総会の中で名簿を披露したいと現在進めています。

最近18歳人口の減少・4年生大学志向が増加の状態にあります。母校は短期大学であり、同窓会の会員数が少ない現状で、運営は経済的に非常に厳しいものになっています。会員の皆様には、再度のお願いで恐縮ですがご理解いただき、ご寄付をよろしくお願い致します。

※申込方法：寄付金は赤色払込用紙  
総会会費は青色払込用紙

### 名称記入形式

※応募は、卒業生のみ

※ハガキで応募

※記入の仕方

名称

氏名 (旧姓 期)

住所 TEL

※会報40号で郵送したハガキをお持ちの方は、それをお使いください。

## 2025年度 総会報告

2025年10月25日（土） 横川洋子

同窓会総会が、ホテル「ルブラ王山」で開催されました。

司会により進行し、篠美代子会長の挨拶がありました。議事に入り、議長は、木村淳子（9期）が選出され、報告事項として2024年度事業報告、決算報告、監査報告があり、承認されました。次に審議事項として2025年度事業計画、会計予算そして役員補充について、副会長に田内美和（38期）、書記に山口香葉子（63期）を推薦しました。各議案が審議され、承認されました。また学年幹事48名に役員要請のお願い文を発送し、現

在進行中である状況を報告しました。総会は無事終了しました。

懇親会では、会食で日本食を美味しくいただきながら、友人たちと歓談しました。来年は、同窓会設立70周年を迎えます。「たくさんの方の参加を呼びかけましょう」と約束して、散会しました。



## 同窓会役員との交流会に参加して

2025年10月6日（月） 学生会会長 伊藤有里

このたび、同窓会の役員のみなさまとの交流会に学生会を代表し参加させていただきました。同窓会の役員のみなさまとは世代や立場を越えて、みなさまの在学時の思い出や当時成し遂げられたご活躍について直接話を伺ったことで、大学生生活を有意義なものにする意味や学びが社会へ出たときどのように活かされるのかを実感する貴重な時間となりました。

人生の先輩方からいただいた温かなはげましや具体的なアドバイスは、私たち学生の大きな道しるべであると感じています。

2025年度葵祭は、同窓会の方々の支援もあり例年とは異なる開催でしたが大成功を収めました。我々学生会は同窓会の方々と交流を積極的に行い、2026年度葵祭に向け尽力してまいります！

## 学生会との交流会

中島美恵子

母校《ギャラリー蔵》に於いて学生会と交流会を行いました。

学生会から伊藤有里会長他6名が出席、同窓会から会長他6名が出席しました。

簾会長から学校の歴史、同窓会活動の経緯のお話が有り熱心に興味深く耳を傾け、学生からは葵祭を控え、その成功に向けて準備に忙しい事、また卒業後の進路の事など多岐に渡る活発な意見交換が出来ました。

忙しい学生生活の中で、課外教育を受けて得た学生会活動は、社会に出た時必ず役に立ちますからとの会長の力強い言葉にっこりと頷いている学生さん達でした。

そして、学生会を応援する「後援費」を贈呈致しました。

お昼休みを利用した短い時間でしたが、学生会と同窓会の世代を超えたコミュニケーションはとても有意義な時間となりました。



## 2025年度葵祭を終えて

2025年11月7日～8日 山口香菜子

2025年の葵祭において、同窓会では作品展を行いました。

展示した作品は、同窓生の皆様にご協力いただき、今までに制作された作品をお持ちいただきました。

葵祭当日は、学生をはじめとし、同窓生の皆様、また一般の来場者の方々にも作品を見て頂くことができました。デジタル化が進む今日、「手づくり」作品のすばらしさや制作された方の想いに触れることができた2日間でした。

今回の作品展が、訪れた方にとって、素敵な時間となったことを大変うれしく思いました。

作品展に来場してくださった多くの皆様、ありがとうございました。

## 葵祭に出品して

11期 菅沼稔子

令和7年の葵祭に絵手紙、水墨画、色鉛筆画を出品させて頂きました。簾先生のちぎり絵、キルトのタペストリー、トールペイント、黒留袖がシックなフォーマルドレスに、帯をバックに、紐で籠、バックにと皆さんの素晴らしい作品が揃いました。

何か一つ趣味を持つ事は生活の充実や新しい交流の場に繋がり、より楽しく成るのではないのでしょうか。先生と先輩、後輩の方々と作品を通して、素晴らしい時間を頂きました。ありがとうございました。

最後に皆様のご健康と、母校の増々の発展をお祈り致します。



## 葵祭に参加して

11期 間瀬澄子

昭和37年卒、84才になりました。入学後2ヶ月で地下鉄が開通し楽になりました。

入学時の理事長、山田新平先生の教育理念「良き妻、良き母」になる事、なれたかな？と反省、私は授業後は鶴舞テニスコートで友人達とテニスの練習、東海学連の一員として仙台、大阪、四国、九州大会等に参加し楽しい2年間でした。

葵祭に参加の為学校へ、木立と石の門柱、土蔵は懐しいまま、学舎は近代的でした。簾先生は貼り絵、菅沼さんは水墨画、私は色留袖、ゆかた等から洋服に仕立てた作品、荷造りひもの籠、トールペイント作品、キルティングの敷き物等小物もいろいろありました。この年令になって参加させて頂き、有難うございました。



2025年度卒業式 3月19日(木)



▲ラグーナバイコート倶楽部



祝花



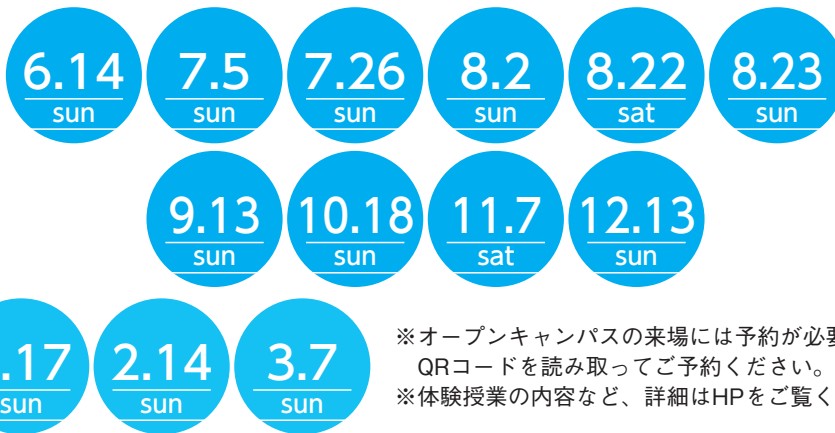
入学式祝花

2026年度入学式 4月2日(木)



▲ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋

## オープンキャンパス日程



※オープンキャンパスの来場には予約が必要です。  
QRコードを読み取ってご予約ください。  
※体験授業の内容など、詳細はHPをご覧ください。



## 研修会・親睦会を終えて

2026年2月25日(水) 三宅裕子

2月25日(水)ノリタケの森にて研修会・親睦会を行いました。クラフトセンターでは、食器の製造の工程を見学し、ものづくりの丁寧さと技術の奥深さを知ることができました。ミュージアムでは日本で初めて作られたディナーセットなど数々の作品に触れ、その歴史の重みと美しさに心を動かされました。

見学後は、ノリタケの食器を使用しているレストラン「キルン」にてフレンチをいただき、和やかな雰囲気の中で同窓生の交流を深めることができました。

このような機会を大切に、今後の活動にも繋げていければと思っています。

ご遠方より参加いただいた方々にお礼申し上げます。



## 訃報 謹んで哀悼の意を表します。

2025年6月から2026年4月迄に連絡をいただいた方です。(敬称略)

4期 鈴木郁子(旧姓近藤)

9期 加藤誉子(旧姓大海)

## 編集後記

41号発行に向けて「同窓会設立70周年」と言う事で、少しでも記念らしくとの思いで、多くの皆様にご協力いただき、無事に発行する事ができました。

ありがとうございました。

10月10日の総会には皆さんお友達をお誘いくださって参加くださいます様、お願い致します。

会報委員会

